



慶應義塾の 教育・研究・医療

活動報告 2020

人を育てる 義塾を支える

2020年、世界は新型コロナウイルス感染症拡大という未曾有の出来事に直面しました。慶應義塾ではこの先行きが不透明な厳しい状況の中でも、すべての塾生が一人も取り残されことなく学問にスポーツに芸術に積極的に取り組む環境を維持できるよう、多くの皆さまからの温かい応援をいただきながら、経済的なサポートから精神的不安に対する心のケアまであらゆる支援策を幅広く講じてきました。また、国内有数の先端医学・医療機関として、慶應義塾大学病院では、早い段階から最前線で新型コロナウイルス感染症との闘いを続けております。

日常の教育・研究・医療活動に加えて、不測の事態に十分に対応するには、安定的かつ独立した財政基盤の確保は欠かせません。「人を育てる 義塾を支える」をキーワードに、2017年度よりキャンペーンを開始し、最終年度を迎えた「福澤諭吉記念慶應義塾学事振興基金(福澤基金)」、「小泉信三記念慶應義塾学事振興基金(小泉基金)」の拡充事業、ならびに長く慶應義塾の様々な活動を支えてきた維持会事業は、まさにこの趣旨に沿った取り組みです。これまで多くの皆さまにご賛同いただいたことに改めて厚く御礼申し上げますとともに、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



慶應義塾長
長谷山 彰

新型コロナウイルス感染症拡大への慶應義塾の対応

新型コロナウイルス感染症拡大により、全世界が未曾有の試練に見舞われる中、日本全国を対象とした緊急事態宣言の発出に伴い(2020年4月)、慶應義塾は教育・研究・医療機関として、塾生、患者さん、教職員を含めたすべての関係者の安全を期すべく、式典の延期や中止、学内施設の閉鎖、代替学習環境整備(オンライン講義の提供)など、さまざまな対策を講じました。

また慶應義塾は、経済活動自粛の結果、家計の急変やアルバイト収入の減少により、学生生活維持の困難に直面する塾生を救済するため、「慶應義塾大学修学支援奨学金」、「2000年記念奨学金」、「慶應義塾維持会奨学金」など、自己資金を原資とする当学独自の多様な奨学基金(総額約240億円)を礎に、緊急に5億円規模に奨学金枠を増額しつつ、コロナ禍の早い段階から積極的に活用してまいりました。

並行して、塾員をはじめとする多くの関係者の方から、慶應義塾へのご支援のお申し出をいただき、このことを受け、5月中旬には「慶應義塾大学修学支援奨学金」、ならびに「慶應義塾大学病院医療支援資金」を用途とする「新型コロナウイルス感染症拡大にともなう緊急支援」への寄付のお呼び掛けを慶應義塾公式webサイト、慶應義塾基金室公式webサイトなどを通じて開始することにいたしました。おかげさまで、ご案内早々から今日に至るまで、数多くの温かいご支援、応援をいただいております。慶應義塾の社中協力の伝統が力強く息づいていることに改めて感謝し、心より御礼申し上げます。

慶應義塾の主な取り組みの詳細はこちらでご覧いただけます



**慶應義塾
大学病院の医療**
検査、医療体制について





学生への支援
「オンライン授業
受講開始支援
補助制度」
「情報保障
サポートデスク」
の設置






本学の対応まとめ
・式典等への対応
・学内施設の状況
・これまでのお知らせ 等





研究活動報告
「活動報告2020」冊子
PDF版をご覧になりたい
方はこちらから




緊急各支援の紹介とご報告



慶應義塾大学修学 支援奨学金について

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、家計などが急激に悪化した学生への経済的支援に充当します。



オンライン授業の様子



慶應義塾大学病院 医療支援資金について

慶應義塾大学病院における新型コロナウイルス感染症対策強化のために充当します。



医療現場の様子



学生支援、医療における取り組み(これまでのご報告)

<https://www.keio.ac.jp/ja/news/2020/7/1/27-71002/>



緊急支援募金実績のご報告

ご寄付のお申し込み実績

2020年10月16日現在集計分(速報値)

緊急支援への寄付お申し込みについて

	慶應義塾大学 修学支援奨学金	慶應義塾大学病院 医療支援資金	合計
件数	899	768	1,667
金額	¥73,460,295	¥350,641,000	¥424,101,295

「慶應義塾大学修学支援奨学金」「慶應義塾大学病院医療支援資金」への寄付お申し込みは、インターネットにより受け付けております。

以下の専用オンラインページにアクセスしてください。

<https://kikin.keio.ac.jp/news/support-covid19/>



※大口のご寄付をご検討の方や銀行・郵便局(ゆうちょ銀行)の窓口等を通じた寄付を希望される方は、以下のフォームよりご請求ください。所定の寄付金申込書と振込用紙をご郵送いたします。 <https://kikin.keio.ac.jp/toiawase/kinkyushien/>

慶應義塾の教育研究を支える「3本の柱」

慶應義塾の未来を支える3つの取り組みー募金キャンペーンが最終年度を迎え、事業内容にも進化が見られる「福澤基金」「小泉基金」。そして長らく慶應義塾のさまざまな活動を支えてきた「維持会」。いずれも慶應義塾の継続的な教育研究基盤の確立に重要な役割を果たしています。



福澤基金

「学事の振興、学者の育成は義塾百年の計である」との設置方針に基づき、研究者の活動やキャリア形成を幅広く支援しています。

基金室webサイトではインタビュー記事のフルバージョンを公開しています。
<https://kikin.keio.ac.jp/feature/>



「国外留学補助」を通じて、研究者の国際活動・海外研費費用を補助

研究者が異なる研究教育文化に直接触れ、多様な人材との交流を図る機会を獲得することを支援します。

「研究補助」を通じて、萌芽的な研究、短期間で成果が出にくい研究なども積極的に支援

支援受け手コメント



慶應義塾大学
薬学部
野口 幸希 助教

「妊娠合併症が胎児の環境に与える影響」について研究しています。新しいことに挑戦して新しい文化を創っていけることが研究の一番の魅力です。福澤基金などの塾内基金の恩恵により研究活動が発展し、視野を広げることができました。研究活動を通して次世代を教育する研究者でありたいです。

支援受け手コメント



慶應義塾大学
理工学部応用化学科
蛭田 勇樹 専任講師

「医療分野への応用を目指した分析技術の開発」をテーマに、他学部との共同研究等を通じて、シーズに終わらない、ニーズにつながる研究をしています。福澤基金は「これから頑張っていこう」という意欲ある若手研究者をサポートしているので、失敗を恐れず研究ができます。

支援受け手コメント



慶應義塾大学
総合政策学部
中室 牧子 教授

教育経済学の観点から、「学生が海外留学に行ったら、その後のような成果が出るか」を、エビデンス（科学的根拠）に基づいて追跡調査しました。福澤基金の研究補助はフレキシビリティの高さが魅力。若い研究者もより積極的に支援してほしいです。

「国際学術論文掲載料補助」「学術出版補助」を通じて、研究者を支援

「国際学術論文掲載料補助」は、国際的な学術論文のオンライン化が進み、情報発信の機会が増大していることを踏まえ、支援規模を拡大することにより、積極的な投稿を応援します。「学術出版補助」は言語、内容の対象範囲をより柔軟化させ、多様な紙媒体のタイムリーな出版を補助します。

多様な分野の先進的・独創的な研究成果により社会の発展に寄与

慶應義塾大学における近年の代表的研究例（福澤基金の助成を受けた研究者も将来的にこれら大型研究を手掛けることが期待されます）

●ブロックチェーンによる学生の個人情報管理プラットフォームを共同開発(STARプロジェクト)

●ヒト特異的な遺伝子を霊長類コモンマーマウスに発現させると、脳が拡大して脳のシワが作られたーヒト大脳新皮質の進化過程を解き明かすー



小泉基金

第7代慶應義塾長の小泉信三の遺徳と功績を顕彰し、塾生・一貫教育校生徒・児童の教育、スポーツ活動をサポートしています。



一貫教育校支援・
小泉信三賞 全国高校生小論文コンテスト

2020年度より一貫教育校生徒・児童への育英・経済支援を目的とする「一貫教育奨学金」の規模拡大を実現しました。小泉基金ではまた、「小泉信三賞全国高校生小論文コンテスト」の運営を通じて、青少年の文章表現能力の向上を目指しています。コンテストは優れた文筆家でもあった小泉信三の没後10年を記念し、1976年より開始されました。コンテストの運営支援を通じて、青少年の文章表現能力の向上を目指します。

塾生の教育活動支援

「国外からの招聘学者への謝金補助」は2020年度は予算を大幅に拡大しました。国際的に活躍する研究者と塾生が直接交流し、指導を受ける機会を支援します。また、「大学院生の海外渡航費補助」を2020年度より新規で設置し、研究者の卵でもある大学院生が海外で研鑽を積む機会の促進に寄与します。

体育会活動支援

支援受け手コメント



慶應義塾大学
体育会
山本 信人 理事

今年度から体育会活動支援事業に新たに「活動費補助」の支援項目が加わり、大幅な増額となったことから、補食や用具購入費、スポーツ保険料などの助成が可能となりました。特に今年度はアルコール消毒液や非接触型検温器具の購入など新型コロナウイルス感染症対策のために活用させていただいております。

小泉信三奨学金

支援受け手コメント



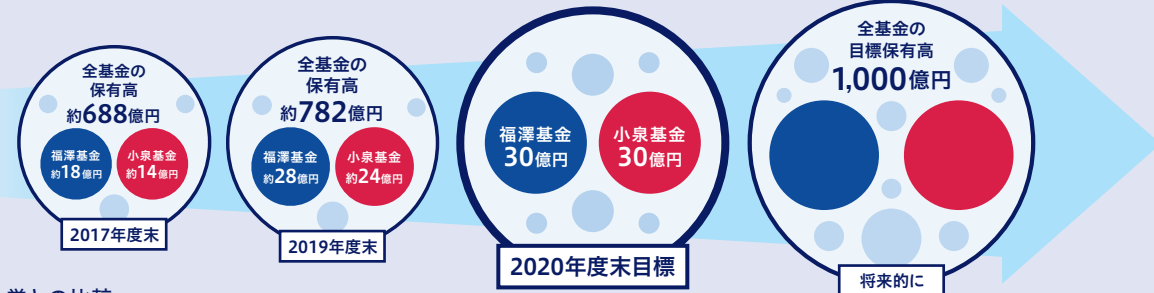
伊藤 聖聖 君
(2012年慶應義塾大学
大学院経済学研究科
博士課程修了)
東京大学社会科学
研究所准教授

修士課程在籍時、奨学研究生に採用されました。書籍購入や学会出張費に使いましたが、研究活動を続けることを応援してもらっているような気持ちになりました。社会的に自立できていなくても、小さな自尊心を持つことができ、院生として精神的に励まされました。



福澤基金・小泉基金拡充の取り組み状況

慶應義塾では福澤基金・小泉基金の拡充を皮切りに基金保有高を1,000億円とすることを当面の目標に、教育研究環境の一層の充実のため、海外主要大学の財政規模により近づけていくことを目指します。米国主要私立大学との比較において、歴史・学生数・卒業生数では決して引けをとらない一方、**財政規模の面では未だ大きな差**をつけられています。



・海外大学との比較

	慶應義塾大学 (1858年創立)	ハーバード大学 (1636年創立)	スタンフォード大学 (1885年創立)
学生総数 (大学院含む)	3万3,500人	3万1,700人	1万7,200人
卒業生数	38万人	40万人	22万人
基金保有高	782億円	4兆3,370億円	3兆470億円
QS世界大学ランキング2021	191	3	2

※データは各校のWebサイト等から抽出 ※1ドル=110円として換算

維持会基金

2019年度末維持会基金残高は約42.5億円です。
この基金をもとに義塾の教育・研究の振興、
施設の拡充などに寄与しています。

維持会基金について
詳しくはこちらから



慶應義塾維持会は、100年以上の歴史を持つ組織です。

1901 (明治34) 年2月3日、福澤諭吉の逝去に伴い、義塾社中の人々は義塾の運営に資するための方策を真剣に討議しました。その結果生まれたのが「慶應義塾維持会」です。慶應義塾は「義塾 (パブリック・スクール)」の名が示すとおり、社中の協力と共同責任において維持・運営されるものであり、維持会の組織化はそうした義塾の理念を具体化したものといえます。維持会では、ご寄付をいただくことにより、「維持会員」となっていただく会員制度を設けております。現在、維持会員数は45,000名を超え、皆さまから温かいご支援をいただいております。会員には、普通会員 (年額一口1万円以上) と、終身会員 (30万円以上一括) があり、義塾の機関誌『三田評論』を芳名掲載号からご加入期間、贈呈いたします。



維持会の事業 ～奨学支援を中心に、塾生を応援しています～

①奨学支援事業－「維持会奨学金」 「新型コロナウイルス感染症拡大にともなう緊急学生支援」

維持会は2007年度に「慶應義塾維持会奨学金」を創設、愛塾心に富んだ優秀な塾生の経済的負担を軽減し充実した学生生活を送れるよう支援しています。2019年度までに計1,134名の奨学生が採用され、勉学・課外活動両面で充実した学生生活を送っています。
また、2020年度には新型コロナウイルス感染症拡大の影響による家計急変、あるいはアルバイト収入の減少などによって経済状況が悪化し、修学が困難になった塾生に対する緊急経済支援を行うことを決定いたしました。

②その他の支援事業－「キャンパス施設整備資金」

塾生の教育・課外活動などにおける環境を一層充実させるための施設整備に対し、本資金を助成いたします。

維持会奨学生からのメッセージ ～毎年感謝のメッセージが寄せられています～

維持会員お一人おひとりの温かいご厚志に対する感謝の心と、
将来への志を持って勉学に励む姿を基金室ホームページにて
ご紹介しておりますので、ぜひご覧ください。

感謝のメッセージ (一部抜粋)

私の父は数年前に病気で他界し、以降は非常に困窮した経済状況の中を過ごしてまいりました。実家から大学まで距離があるため一人暮らしをしていますが、生活費を稼ぐためにアルバイトを掛け持ちし生活費や研究に関わる活動費を負担しておりました。その状況の中、自身の研究活動が軌道に乗り始めたものの、思う存分時間をかけられずアルバイトと研究の両立の困難を実感しておりました。今回維持会奨学生に採用していただけたことで母の経済的負担を減らすことができ、これまで以上に学業及び研究活動に時間を充てるできるようになりました。維持会会員の皆さまに重ねて感謝を申し上げます。(2019年度採用奨学生)

支援者コメント

福澤基金・小泉基金・慶應義塾維持会基金を通じて
慶應義塾を応援してくださる方々のコメントをご紹介します。

福澤基金支援者

宮部 一弘 君
(1969年経済学部卒業)
日輪工業株式会社
取締役社長



恩師や優秀なゼミ生との出会いが勉学へのやる気に拍車をかけ、図書館に通い詰めた日々を懐かしく思い出します。慶應義塾で得た友人とは、卒業後51年を経過した今でも繋がりが続いています。座右の書「学問のすゝめ」にある福澤先生の教えに則り、「常に正しいこと、新しいこと」を発信してきたのが慶應義塾だと思っています。だからこそ慶應義塾は後れを取ってはいけません。これからの未来を担っていく塾生を育てる環境を整えるための一助として、今回福澤基金に寄付をさせていただきました。

小泉基金支援者

奈藏 稔久 君
(1969年経済学部卒業)
三田体育会 会長
世界空手連盟 事務総長



体育会の各部を「草花」、体育会全体を「森」とすれば、「森の育成」を実現するのが小泉基金だと考えます。三田体育会の一会員、そして会長として非常に重要な取り組みであると受け止めています。支援の軸のひとつは海外 (国際化) を視野に入れることでしょう。体育会に所属する塾生は他の塾生と比べて海外に出るチャンスが少ないと聞きます。小泉基金を通じて、「国際化」という縦糸と「体育会」という横糸の交点で支援をしていければと考えています。

維持会基金支援者

維持会終身会員
(1985年商学部・
2015年文学部卒業)

通学生として商学部を、通信課程にて文学部を卒業しました。慶應義塾に二度お世話になったことが今の自分を作ってくれたと感じています。維持会は慶應義塾を支えるさまざまな事業を行っており、少しでもお役に立てばとの思いから終身会員になりました。学生生活はゼミやクラブ活動等で、通信課程では仕事の方で卒論に取り組み、共にとても豊かな日々だったと実感しています。今の学生さんたちにも仲間とともに実りある時間を過ごし、それを糧に元気に社会に旅立ってほしいと願っています。

慶應義塾へのご支援をお考えの皆さまへ

個人の場合

銀行・郵便局 (ゆうちょ銀行)

義塾所定の払込用紙をお使いの上、金融機関 (銀行または郵便局) の窓口からお振込ください。お手元に払込用紙がない場合は基金室までご請求ください。

※ATMやインターネットバンキングからの直接のお振り込みは寄付者の特定ができない場合がございますのでご遠慮ください。

インターネット募金 (クレジットカード・ペイジー)

日中、金融機関に足を運べない方はインターネット募金をぜひご活用ください。インターネット募金の詳細 (ご寄付手続き) については別途説明用チラシもしくはWebサイトをご覧ください。

<https://fundexapp.jp/keio/purpose.htm>



法人・団体の場合

ご検討の際は、基金室までお問い合わせください。

お問い合わせ先 慶應義塾 基金室

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45 TEL:03-5427-1898 (平日9時～17時)
E-mail: kikin-box@adst.keio.ac.jp <https://kikin.keio.ac.jp/toiawase>



寄付金控除のご案内

慶應義塾へのご寄付は、税制上の優遇措置(寄付金控除)を受けることができます。^{*1}

^{*1}: 入学した年内の寄付金(入学願書受付の開始日から入学が予定される年の年末までの期間内に納入したもの)につきましては、「学校の入学に係る寄付金」とみなされ、寄付金控除の対象から除外されます。但し、教育振興資金など一部の寄付については寄付金控除の対象となります。

個人でのご寄付

慶應義塾へのご寄付は、所得税の「所得控除」または「税額控除」のいずれかを選択いただけます。さらに、住民税においても、条例で慶應義塾を寄付金税額控除の対象法人として指定している地域にお住まいの方は、住民税の「税額控除」の対象になります。

寄付金控除の流れ (所得税の税額控除を選択した場合)



1 所得税の寄付金控除

(年間の寄付金合計額^{*2} - 2,000円) × 40%

寄付金控除額^{*3} (所得税額から控除)

^{*2}: 年間の寄付金合計額が年間総所得金額等の40%を超える場合は、40%に相当する額が限度となります。

^{*3}: 寄付金控除額は、所得税額の25%が限度となります。

税額控除は税率に関係なく所得税額から直接控除するため、所得控除と比較してほとんどのご寄付の場合、減税効果が大きくなります。なお、所得税率が高い場合は所得控除を選択した方が有利になる場合があります。確定申告時に税額控除か所得控除のどちらかを寄付者自身が選択して所得税の控除を受けることができます。

ご自身の控除額は基金室webサイト内の「所得税控除シミュレーター」でご確認ください。



2 個人住民税の寄付金税額控除

※地方自治体の条例により指定された場合に限りです。

(寄付金額^{*4} - 2,000円) × 控除率^{*5} = 住民税の控除額

^{*4}: 年間総所得金額等の30%が限度となります。

^{*5}: 控除率は都道府県、市区町村合わせて最大10%となります。

慶應義塾を「寄付金税額控除対象法人」として、
現在条例で指定している地方自治体

条例指定にあたり、自治体内に慶應義塾の代表所在地又は設置する学校を有することが主な要件とされています。

(都道府県) 東京都、神奈川県^{*6}、埼玉県、山形県
(市区町村) 港区、武蔵野市、狛江市、檜原村
横浜市(横浜市内における施設の建設等の費用に充てるための寄付金を除く。)
平塚市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、大磯町、二宮町、中井町、松田町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町
(以上、神奈川県外における施設の建設等の費用に充てるための寄付金を除く)
川崎市、相模原市、鎌倉市、小田原市、秦野市、厚木市、海老名市、山北町
さいたま市、志木市、蕨市、戸田市、桶川市、鴻巣市、和光市、朝霞市、新座市、富士見市、三芳町、川島町、日高市、越生町、滑川町、嵐山町、ときがわ町、小川町、八潮市、吉川市、松伏町、杉戸町、宮代町、白岡市、蓮田市、幸手市、久喜市、加須市、羽生市、行田市、熊谷市、深谷市、美里町、寄居町
山形県内の市町村すべて
大阪市

^{*6}: 神奈川県外における施設の建設等の費用に充てるための寄付金を除く。

法人でのご寄付

■「受配者指定寄付金制度」寄付金全額が損金に算入できます。

■「特定公益増進法人に対する寄付金制度」一般の寄付金の損金算入限度額と別枠で損金算入できます。

◎ 税額控除についての詳細は基金室webサイトの「税制上の優遇措置」をご覧ください。 <https://kikin.keio.ac.jp/>

◎ 確定申告書作成等の詳細については、国税庁HP又はお住まいの地域の税務署でご確認ください。 国税庁HP <https://www.nta.go.jp/>